データ伝送による総合振込の取扱要領

１．総合振込のデータ伝送仕様

(1) 通 信 規 約　　全銀基準
(2) 回 線 種 類　　公衆回線　　９６００ｂｐｓ
　　ＩＳＤＮ回線　　９６００ｂｐｓ　　６４Ｋｂｐｓ
(3) 使用コード　　ＪＩＳコード、ＥＢＣＤＩＣコード
(4) 記 録 方 式　　１２０バイト＝１レコード
(5) レコードＩＤ　　０（固定長）

２．総合振込のデータの内容

(1) 総合振込データはつぎの項目、桁数および記録順序による。
(2) 依頼人は、総合振込データの作成にあたって必要項目、とくに口座番号の正確を期するものとする。

(ヘッダー・レコード)

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「１」
種別コード	２	「２１」
コード区分	１	ＪＩＳ…「０」、ＥＢＣＤＩＣ…「１」
振込依頼人コード	１０	銀行で採番した番号
振込依頼人名	４０	左づめとし、残りをスペース
取組日	４	振込日を「月日」で記入 （例）６月１２日→０６１２
仕向銀行番号	４	「０１１８」
※仕向銀行名	１５	「ミチノク」と左づめ、残りスペース
仕向支店番号	３	統一店番号とする
※仕向支店名	１５	左づめとし、残りをスペース
※預金種目（依頼人）	１	普通預金…「１」、当座預金…「２」
※口座番号（依頼人）	７	右づめ、残り「０」
ダミー	１７	スペース

(データ・レコード)

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「２」
被仕向銀行番号	４	統一金融機関番号を記入
※被仕向銀行名	１５	左づめ、残りをスペース
被仕向支店番号	３	統一支店番号を記入
※被仕向支店名	１５	左づめ、残りをスペース
※手形交換所番号	４	スペース
預金種目	１	普通預金…「１」、当座預金…「２」、貯蓄預金…「４」、その他…「９」
口座番号	７	右づめ、残りを「０」
受取人名	３０	左づめ、残りをスペース
振込金額	１０	右づめ、残りを「０」
新規コード	１	第１回振込分…「１」、変更分…「２」 その他……「０」
※顧客コード１	１０	右づめ、残りを「０」
※顧客コード２	１０	右づめ、残りを「０」
振込指定区分	１	「０」
ダミー	８	スペース

(トレーラ・レコード)

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「８」
合計件数	６	右づめ、残りを「０」
合計金額	１２	右づめ、残りを「０」
ダミー	１０１	スペース

(エンド・レコード)

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「９」
ダミー	１１９	スペース

（注１）※印の項目は記録を省略し、スペースとすることができる。
（注２）最終ブロックには１個のエンド・レコードを入れる。

以　上

2020.06.01

データ伝送による給与振込の取扱要領

１．給与振込のデータ伝送仕様

(1) 通 信 規 約　　全銀基準
(2) 回 線 種 類　　公衆回線　　９６００ｂｐｓ
　　ＩＳＤＮ回線　　９６００ｂｐｓ　　６４Ｋｂｐｓ
(3) 使用コード　　ＪＩＳコード、ＥＢＣＤＩＣコード
(4) 記 録 方 式　　１２０バイト＝１レコード
(5) レコードＩＤ　　０（固定長）

２．給与振込のデータの内容

(1) 給与振込データはつぎの項目、桁数および記録順序による。
(2) 依頼人は、給与振込データの作成にあたって必要項目、とくに口座番号の正確を期するものとする。

（ヘッダー・レコード）

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「１」
種別コード	２	給与…「１１」、賞与…「１２」
コード区分	１	ＪＩＳ…「０」、ＥＢＣＤＩＣ…「１」
振込依頼人コード	１０	銀行で採番した番号
振込依頼人名	４０	左づめとし、残りをスペース
取組日	４	振込日を「月日」で記入 （例）６月１２日→０６１２
仕向銀行番号	４	「０１１８」
※仕向銀行名	１５	「ミチノク」と左づめ、残りスペース
仕向支店番号	３	統一店番号とする
※仕向支店名	１５	左づめとし、残りをスペース
※預金種目（依頼人）	１	普通預金…「１」、当座預金…「２」
※口座番号（依頼人）	７	右づめ、残り「０」
ダミー	１７	スペース

（データ・レコード）

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「２」
被仕向銀行番号	４	統一金融機関番号を記入
※被仕向銀行名	１５	左づめ、残りをスペース
被仕向支店番号	３	統一支店番号を記入
※被仕向支店名	１５	左づめ、残りをスペース
※手形交換所番号	４	スペース
預金種目	１	普通預金…「１」、当座預金…「２」
口座番号	７	右づめ、残りを「０」
受取人名	３０	左づめ、残りをスペース
振込金額	１０	右づめ、残りを「０」
新規コード	１	第１回振込分…「１」、変更分…「２」 その他……「０」
※顧客コード１	１０	右づめ、残りを「０」
※顧客コード２	１０	右づめ、残りを「０」
ダミー	９	スペース

（トレーラ・レコード）

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「８」
合計件数	６	右づめ、残りを「０」
合計金額	１２	右づめ、残りを「０」
ダミー	１０１	スペース

（エンド・レコード）

項　　目	桁数	内　　容
データ区分	１	「９」
ダミー	１１９	スペース

（注１）※印の項目は記録を省略し、スペースとすることができる。
（注２）最終ブロックには１個のエンド・レコードを入れる。

以　上

2020.06.01

データ伝送による預金口座振替の取扱要領

１．請求および返戻データ伝送仕様

(1) 通 信 規 約　　全銀基準
(2) 回 線 種 類　　公衆回線　　９６００ｂｐｓ
　　ＩＳＤＮ回線　　９６００ｂｐｓ　　６４Ｋｂｐｓ
(3) 使用コード　　ＪＩＳコード、ＥＢＣＤＩＣコード
(4) 記 録 方 式　　１２０バイト＝１レコード
(5) レコードＩＤ　　０（固定長）

２．請求データの内容

(1) 請求データはつぎの項目、桁数および記録順序による。
(2) 委託者は、請求データの作成にあたって必要項目、とくに口座番号の正確を期するものとする。

（ヘッダー・レコード）

項　目	桁数	内　容
データ区分	１	「１」
種別コード	２	「９１」
コード区分	１	ＪＩＳ…「０」、ＥＢＣＤＩＣ…「１」
振込依頼人コード	１０	銀行で採番した番号
振込依頼人名	４０	左づめとし、残りをスペース
取組日	４	振込日を「月日」で記入 （例）６月１２日→０６１２
仕向銀行番号	４	「０１１８」
※仕向銀行名	１５	「ミチノク」と左づめ、残りスペース
仕向支店番号	３	統一店番号とする
※仕向支店名	１５	左づめとし、残りをスペース
※預金種目（依頼人）	１	普通預金…「１」、当座預金…「２」
※口座番号（依頼人）	７	右づめ、残り「０」
ダミー	１７	スペース

「振替不能区分コード」

振替済	０	預金口座振替依頼書なし	４
資金不足	１	委託者都合による振替停止	８
取引なし	２	その他	９
預金者都合による振替停止	３		

（データ・レコード）

項　目	桁数	内　容
データ区分	１	「２」
被仕向銀行番号	４	統一金融機関番号を記入
※被仕向銀行名	１５	左づめ、残りをスペース
被仕向支店番号	３	統一支店番号を記入
※被仕向支店名	１５	左づめ、残りをスペース
※手形交換所番号	４	スペース
預金種目	１	普通預金…「１」、当座預金…「２」、納税準備預金…「３」
口座番号	７	右づめ、残りを「０」
受取人名	３０	左づめ、残りをスペース
振込金額	１０	右づめ、残りを「０」
新規コード	１	第１回引落分…「１」、変更分…「２」 その他……「０」
※顧客番号	２０	右づめ、残りを「０」
※振替結果コード	１	委託者から銀行へ渡すとき「０」、銀行から委託者へ渡すときは「振替不能区分コード」を記録する。
ダミー	８	スペース

（トレーラ・レコード）

項　目	桁数	内　容
データ区分	１	「８」
合計件数	６	右づめ、残りを「０」
合計金額	１２	右づめ、残りを「０」
振替済件数	６	右づめ、残りを「０」、請求データは全て「０」
振替済金額	１２	右づめ、残りを「０」、請求データは全て「０」
振替不能件数	６	右づめ、残りを「０」、請求データは全て「０」
振替不能金額	１２	右づめ、残りを「０」、請求データは全て「０」
ダミー	６５	スペース

（エンド・レコード）

項　目	桁数	内　容
データ区分	１	「９」
ダミー	１１９	スペース

（注１）※印の項目は記録を省略し、スペースとすることができる。
（注２）最終ブロックには１個のエンド・レコードを入れる。

以　上

2020.06.01

データ伝送による地方税納付の取扱要領

１．地方税納付のデータ伝送仕様

(1) 通 信 規 約　　地銀協基準
(2) 回 線 種 類　　公衆回線　　９６００ｂｐｓ
　　ＩＳＤＮ回線　　９６００ｂｐｓ　　６４Ｋｂｐｓ
(3) 使用コード　　ＪＩＳコード、ＥＢＣＤＩＣコード
(4) 記 録 方 式　　１２０バイト＝１レコード
(5) レコードＩＤ　　０（固定長）

２．地方税納付のデータの内容

(1) 地方税納付データはつぎの項目、桁数および記録順序による。
(2) 依頼人は、地方税納付データの作成にあたって必要項目、とくに口座番号の正確を期するものとする。

（ヘッダー・レコード）

項　目	桁数	内　容	
データ区分	１	「１」	
種別コード	２	「９９」	
コード区分	１	ＪＩＳ…「０」、ＥＢＣＤＩＣ…「１」	
依頼人コード	１０	銀行で採番した番号	
取引支店番号	３	統一店番号とする	
納付期限	６	納付期限を「年月日」で記入 （例）平成１３年６月１２日→１３０６１２	
納付月分	４	納付月を「年月」で記入 （例）平成１３年６月→１３０６	
特別徴収義務者名	２０	名 称 １（上段）	カナ文字左づめ、残りをスペース。市町村への納付書に印刷されます
	２０	名 称 ２（下段）	
特別徴収義務者の所在地	１５	所在地１（上段）	カナ文字左づめ、残りをスペース。市町村への納付書に印刷されます
	１５	所在地２（中段）	
	２０	所在地３（下段）	
ダミー	３	スペース	

（データ・レコード）

項　目		桁数	内　容
データ区分		１	「２」
市区町村コード		６	自治省が制定した市区町村コード
市区町村名		１５	左づめカナ文字、残りをスペース
指定番号		１５	市区町村から企業への指定番号、左づめ
異動の有無		１	０：異動無、　１：異動有
給与税額	件　数	５	市区町村ごとの納付対象従業員数。右づめ、残りを「０」
	金　額	９	市区町村ごとの納付税額。右づめ、残りを「０」
退職税額	件　数	５	市区町村ごとの納付対象従業員数。右づめ、残りを「０」
	金　額	９	市区町村ごとの納付税額。右づめ、残りを「０」
合計税額	件　数	５	給与税額、退職税額の件数合計。右づめ、残りを「０」
	金　額	９	給与税額、退職税額の金額合計。右づめ、残りを「０」
退職明細	人　員	３	右づめ、残りを「０」
	支払金額	１０	右づめ、残りを「０」
	市町村民税	９	右づめ、残りを「０」
	都道府県民税	９	右づめ、残りを「０」
ダミー		９	スペース

（トレーラ・レコード）

項　目		桁数	内　容
データ区分		１	「８」
給与税額合計	件　数	７	データレコードの給与税額件数合計。右づめ、残りを「０」
	金　額	１１	データレコードの給与税額金額合計。右づめ、残りを「０」
退職税額合計	件　数	７	データレコードの退職税額件数合計。右づめ、残りを「０」
	金　額	１１	データレコードの退職税額金額合計。右づめ、残りを「０」
合計金額	件　数	７	右づめ、残りを「０」
	金　額	１１	右づめ、残りを「０」
ダミー		６５	スペース

（エンド・レコード）

項　目	桁数	内　容
データ区分	１	「９」
ダミー	１１９	スペース

（注１）※印の項目は記録を省略し、スペースとすることができる。
（注２）最終ブロックには１個のエンド・レコードを入れる。

以　上

2020.06.01